

金融広報中央委員会の活動

(平成 21 年度)

知るぽると

www.shiruporuto.jp

金融広報中央委員会

(事務局 日本銀行情報サービス局内)

〔目 次〕

| | |
|---------------------------------|----|
| 序 活動概況 | 1 |
| I 金融広報活動 | 2 |
| 1. 講演会・セミナー活動 | 2 |
| (1) 「金融教育フェスティバル」の開催 | 2 |
| (2) 「金融教育公開授業」の開催 | 9 |
| (3) 「教員のための金融教育セミナー」の開催 | 17 |
| 2. 啓発資料・教材類 | 19 |
| (1) 「暮らしと金融なんでもデータ」の改訂・発行 | 20 |
| (2) ホームページコンテンツ「おかねのね」ワークブックの作成 | 21 |
| (3) 「くらし塾 きんゆう塾」の季刊発行 | 22 |
| (4) 教員向け冊子「はじめての金融教育」の普及促進 | 23 |
| (5) ビデオの貸出 | 25 |
| (6) 各種メディアを通じた情報発信の促進 | 26 |
| (7) ホームページを通じた情報発信 | 27 |
| 3. コンクール | 28 |
| (1) 「金融教育を考える」小論文コンクール | 28 |
| (2) 「金融と経済の明日」高校生小論文コンクール | 30 |
| (3) 「おかねの作文」コンクール | 32 |
| II 調査研究活動 | 34 |
| 1. 家計の金融行動に関する世論調査 | 34 |
| 2. 海外の金融教育の実情調査、国際機関等との情報交換 | 36 |
| III 都道府県金融広報委員会を通じた活動 | 37 |
| 1. 金融広報アドバイザー制度 | 38 |
| 2. 金融学習グループ制度 | 38 |
| 3. 金融・金銭教育研究校制度 | 39 |
| 4. 金融教育研究グループ制度 | 39 |
| 5. 金融学習特別推進地区制度 | 40 |

(資料1) 金融広報中央委員会活動の相互連携図

(資料2) 主な金融経済等講演会の開催状況

序 活動概況

平成 21 年度は、「ともに届けようお金の知識」を活動テーマとして掲げ、金融知識普及と金融教育を両輪に、両者のバランスをとりながら積極的な活動を展開しました。

すなわち、金融教育の面においては、各地の教育委員会や学校等への訪問時に、前年度作成した教員向け冊子「はじめての金融教育」を紹介し、金融教育の理解と同冊子の活用の促進に努めました。また、小学生向けホームページコンテンツ「おかねのね」の抜き刷り冊子を作成し、各地で開催される親子セミナー等で積極的に活用いただきました。さらに、金融教育の実践の一段の充実を目指し、東京で大規模な教員セミナーを開催したほか、各地金融広報委員会が開催する教員対象のセミナー・研修等についても、講師の紹介などにより積極的に支援しました。この間、金融教育公開授業、作文・小論文コンクールなどの金融教育関連事業を引続き実施しました。

一般向けの活動については、過去 4 年、東京において開催してきた金融教育フェスティバルを、引続き多くの委員団体の協力を得つつ、本年度は初めて全国 10 か所で開催しました。また、金融に関心の薄い方々にも「知るぽると」を知っていただくため、各イベントの告知に合わせた情宣や当委員会活動を紹介するコラムの全国紙へ掲載を行いました。この間、広報誌「くらし塾 きんゆう塾」の全国図書館・公民館等への配付、各地金融広報委員会が主催する講演会や講座・講習会の支援、啓発資料・教材の作成・配付、ホームページを通じた情報発信など、引続き金融知識の普及活動の充実に努めました。

また、調査活動として「家計の金融行動に関する世論調査」を継続実施したほか、昨年の米国に続き、英国の金融教育の実情調査も行いました。このほか、OECD の主催する国際会議に参加し、各国の金融教育に関する情報収集や意見交換にも努めました。

本年度は、新型インフルエンザの流行や荒天などにより一部の事業を中止せざるを得ない状況も生じましたが、各活動に当たっては、委員・関係団体、各地金融広報委員会、関係官庁、教育関係者等から一層の協力を得て、活動の広がりを実感できるなど、概ね所期の目標を達し得たものと認識しています。

I 金融広報活動

1. 講演会・セミナー活動

(1) 「金融教育フェスティバル」の開催

【目的】

児童・生徒、保護者、教育関係者をはじめ、より多くの方々に金融や経済の仕組み、あるいは、暮らしに身近なお金の知識について、楽しみながら学んでいただくことを通じて、金融教育の必要性についてご理解をいただくとともに、金融教育に対する興味・関心を高めていただくことを目的としています。

【内容】

5回目となる平成21年度は、8月9日の兵庫開催を皮切りに、以下の全国10都市で金融教育フェスティバルを開催しました。今回のフェスティバルでは、子どもたちには、おかねの仕組みや中央銀行の仕事、働くことの大切さ等について楽しく学べるよう、人気キャラクター・ショー、体験・参加型プログラムやおかねクイズ・工作コーナーなどを用意しました。また、大人の方向けのプログラムとしては、著名な講師による講演会や教員向けのセミナーのほか、東京会場では教員向けセミナーに代えて一般の方向けのセミナーを20講座開催しました。加えて、委員団体や官庁などが作成した金融教育に関連する資料を提供するコーナーも設けました。各開催地とも盛況で、全開催地合計で約5,300名の方々にご来場いただきました。

(敬称略)

| | |
|----------------|---|
| 行事名 | 「金融教育フェスティバル2009」 |
| 日時 ・ 開催地 | 平成21年8月9日(日) 兵庫県神戸市 平成21年8月22日(土) 沖縄県宜野湾市 平成21年9月12日(土) 愛媛県松山市 平成21年10月25日(日) 秋田県秋田市 平成21年11月3日(火・祝日) 東京都千代田区 平成21年12月12日(土) 新潟県新潟市 平成21年12月26日(土) 愛知県名古屋市 平成22年1月9日(土) 埼玉県さいたま市 平成22年1月16日(土) 長崎県長崎市 平成22年2月6日(土) 広島県広島市 各開催地とも10:00~17:00 |

| | |
|-----|--|
| 主催等 | <p>主催：金融広報中央委員会 開催地の金融広報委員会 さいたま市（埼玉開催のみ）</p> <p>後援：文部科学省、内閣府、金融庁、日本銀行、日本PTA全国協議会、全国公民科・社会科教育研究会、全国家庭科教育協会 開催地の都県および県庁所在市の教育委員会</p> |
| 内 容 | <p>1. 講演会 <対象>大人 <定員>800名（東京、愛知）、500名（兵庫、新潟、広島）、400名（埼玉）、300名（沖縄、愛媛、秋田、長崎） <内容>著名な講師をお迎えし、お金の知識をわかりやすく語っていただきました。</p> <p>【兵庫、新潟、埼玉】 「ダニエルが語るお金の魅力」 講師 ダニエル・カール（翻訳家・タレント、山形弁研究家）</p> <p>【沖縄、愛媛、愛知、長崎、広島】 「気をつけよう！金融トラブル」 講師 住田 裕子（弁護士）</p> <p>【秋田】 「金融トラブルにあわないために～人はなぜ多重債務に陥るのか～」 講師 宇都宮 健児（弁護士）</p> <p>【東京】 「金融知識の役割」 講師 白川 方明（日本銀行総裁）</p> <p>2. 親子のためのお金の広場 (1) おかねの仕事体験 <対象>原則として小学校低・中学年 <定員>1回36名（各開催地で3回開催） <内容>中央銀行の仕事やお金の上手な使い方等について、体験を通して楽しく学びました。</p> <p>①中央銀行業務の体験コーナー 参加した子どもたちは、中央銀行の見習い職員として、グループごとに貨幣マスを使ったコインの選別と、破れたお札を新しいお札と交換できるかどうかの判定業務を体験し、働いた報酬としてお給料（模擬貨幣）を受け取りました。</p> <p>②カレー作りゲーム 「中央銀行業務の体験コーナー」で得たお給料で、家族のためにカレーの材料を買うというゲームに取り組みました。食材の値段を考えながらリストを作成して買い物に挑戦し、限られた予算の中でのおかねの「使い方」を学習しました。</p> <p>*「カレー作りゲーム」監修 あんびる えつこ</p> |

(2) ガチャピン&ムックとおかねのことを学ぼう

<対象>子どもとその保護者

<定員>1回70名(各開催地で2回開催)

<内容>ガチャピン、ムックと一緒に、おかねのことならなんでも知っているマネー博士からおかねのことを学ぶキャラクター・ショーが行われました。子どもたちは、外国では日本と違うおかねを使っていることや、おかねがないとどのような不自由なことがあるのか、などの話題に興味深く聞き入っていました。また、ガチャピンやムックと一緒におこづかい帳の付け方を勉強しました。

(3) おかねクイズ

<対象>5才~中学生まで

<内容>会場内のヒントパネルを手がかりに、おかねに関する質問に答えるクイズ。10問中8問以上正解すると「おかね博士認定証」を贈呈しました。

(4) おかねについて学ぶコーナー

<対象>全ての来場者

<内容>小判五十両包み、フェイ(石貨)など珍しい貨幣や金塊のレプリカを展示。思いもよらぬ重さに驚くなど、体験を通じて、お金のことを学びました。

(5) 貯金箱作りコーナー

<対象>5才~中学生まで

<内容>知るぼるとのキャラクターが描かれた「車」型または「新幹線」型の特製貯金箱に、好きな色を塗って組み立てました。

(6) ビデオ上映

<対象>子どもとその保護者

<内容>ものの価値や健全な生活習慣の重要性などを伝える子ども向けビデオ「ボクの犬小屋日記」と「ホシガリ姫の冒険」を上映しました。

3. 教員向けセミナー【東京会場を除く】

<対象>教員、および教職を目指す大学生・大学院生

<定員>48~50名

<内容>学校の先生方などを対象に、各開催地における金融・金銭教育研究校等より実践事例を披露いただくなど、金融教育の目的と意義を学んでいただく機会を設定しました。

①講話

金融教育に関する有識者の方々に、金融教育の考え方や進め方などについてお話しいただきました。

【兵庫、沖縄、愛媛、秋田、新潟、愛知、広島】

「新学習指導要領における金融教育の進め方」

講師 大杉 昭英(岐阜大学教育学部教授)

| | |
|--|---|
| | <p>【埼玉】 「学校における金融教育の進め方」 講師 北 俊夫（国土舘大学教授）</p> <p>【長崎】 「学校における金融教育の効果的な進め方」 講師 工藤 文三（国立教育政策研究所初等中等教育研究部長・教育課程研究センター基礎研究部長〈併任〉）</p> <p>②実践報告 金融教育に取り組まれている先生方に、実践事例をお話いただきました。</p> <p>【兵庫】 〈1〉「起業教育から金銭の多面的価値を考える ～『株式会社 ナカちゃんプロジェクト』のCD販売を通して～」 講師 島村 孝（徳島県阿南市立平島小学校教諭） 〈2〉「生徒自主開発商品『オリジナル鞆』の開発・販売 ～近江商人の『三方よし』を実践し、お金を得る喜びを体験しよう～」 講師 田村 光宏（滋賀県立大津商業高等学校教諭）</p> <p>【沖縄】 〈1〉「島に誇りを、心に夢を持ち、たくましく生きる生徒の育成」 講師 大城 宗（沖縄県北大東村立北大東中学校 教諭） 〈2〉「塩販売体験を通じた金融教育の取り組み」 講師 知念 澄男（沖縄県那覇市立銘苺小学校教諭）</p> <p>【愛媛】 「金融教育を日々の営みへ」 講師 今井 敬（愛媛県立東温高等学校商業科科长・教諭）</p> <p>【秋田】 〈1〉「本校の特色ある教育活動を金融教育の視点から探る」 講師 櫻庭 咲子（秋田県秋田市立秋田商業高等学校教諭） 〈2〉「由利本荘市立上川大内小学校金銭教育の取り組み 『上小なべっこ会を全校で成功させよう』」 講師 土田 静子（秋田県由利本荘市立上川大内小学校教諭）</p> <p>【新潟】 〈1〉「金融教育に携わって～ヴァーチャルからリアリティーへ～」 講師 西潟 一隆（新潟県立塩沢商工高等学校教諭） 〈2〉「社会科授業における消費者教育の取り組み」 講師 猪又 力（新潟県糸魚川市立糸魚川中学校教諭）</p> <p>【愛知】 〈1〉「生きる意欲と活力を持ち、自立した消費者であるために －消費者教育・キャリア教育を中心とした金融教育を通して－」 講師 富岡 浩二（愛知県立春日井商業高等学校教諭） 〈2〉「地域・保護者と連携して進める金銭教育」 講師 坂井 辰美（愛知県一宮市立奥小学校教頭）</p> |
|--|---|

【埼玉】

<1>「高校生が取り組む金融教育」

講師 白井 智也（埼玉県立大宮商業高等学校教諭・商業科主任）

<2>「家計のシミュレーションゲームと模擬商談」

講師 三枝 利多（東京都目黒区立目黒中央中学校教諭）

【長崎】

<1>「学校ぐるみ・島ぐるみの金融教育

～研究指定と模擬株式会社の取組み」

講師 吉田 博利（長崎県立中五島高等学校教諭）

<2>「くふうしよう！かしこい生活」

講師 高橋 幸信（佐賀県唐津市立大良小学校教頭）

【広島】

<1>「金融教育を通してのキャリア教育の取組み

～社会とつながる学習～」

講師 矢野 克人（広島県立福山商業高等学校教諭）

<2>「生きる力と金融教育」

講師 横尾 秀成（広島県福山市立蔵王小学校教務主任）

③ワークショップ

金融教育、金銭教育について経験豊富な講師より、必要なものと欲しいものの違いに関する話や、世界のお札（紙幣）を使った授業など実践のヒントになる手法の紹介がありました。

【兵庫、沖縄、愛媛、秋田、新潟、愛知、埼玉、長崎、広島】

テーマ「世界一おもしろいお金の授業！必要なモノと欲しいモノ」

講師 いちのせ かつみ（FP／生活経済ジャーナリスト）

4. 金融教育セミナー【東京会場のみ】

<対象>大人

<定員>各講座約 50～100 名

<内容>当委員会の関係・協力団体を中心に講師を依頼し、金融・経済・教育の身近なテーマに関するセミナーを 20 講座開催しました。

①やさしく学ぶ 投資信託の仕組みとリスク

（NPO法人）証券学習協会

②ロールプレイやゲームで学ぶ消費者トラブル

（財）消費者教育支援センター

③Jリートの基礎

（社）不動産証券化協会

④コツコツ始める家計の節約と将来設計

（株）ゆうちょ銀行

⑤広告表示と消費者トラブル

（社）全国消費生活相談員協会

⑥株式投資の基礎知識

（NPO法人）投資と学習を普及・推進する会

⑦消費者が準備したい葬儀費用と最近の葬儀事情

（財）日本消費者協会

| | |
|--|---|
| | <p>⑧預金保険制度について 預金保険機構</p> <p>⑨金融犯罪にご用心！ ～金融犯罪の手口と対策～ 全国銀行協会</p> <p>⑩証券市場の仕組みと機能について (株)東京証券取引所グループ</p> <p>⑪証券投資をはじめるにあたって (社)日本証券アナリスト協会</p> <p>⑫生活に役立つファイナンシャル・プランニング (NPO法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会</p> <p>⑬生命保険のしくみと役割 (財)生命保険文化センター</p> <p>⑭マネートラブルにかつ！ (社)全国労働金庫協会</p> <p>⑮初めての投資信託教室 ～資産運用は時間を味方につけましょう～ (社)投資信託協会</p> <p>⑯見えないお金賢く使って、賢く管理 ～リボ払ってなあ～に？～ (社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会</p> <p>⑰ライフプランとファイナンシャル・プランニング (社)金融財政事情研究会</p> <p>⑱トラブルの無い金融商品取引を行うための基礎知識 日本証券業協会</p> <p>⑲知って役立つ！そんぽの豆知識 (社)日本損害保険協会</p> <p>⑳家庭でやさしく金融を学ぼう♪ 金融広報中央委員会</p> <p>5. 金融教育資料提供コーナー <対象>全ての来場者 <内容>主催者ならびに協力団体の金融知識や金融教育に関する刊行物を提供しました。</p> |
|--|---|

(「金融教育フェスティバル 2009」参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/event/2009/09fest/index.html>

講演会の模様



親子のためのお金の広場～おかねの仕事体験
「中央銀行業務の体験コーナー」の模様



親子のためのお金の広場～おかねの仕事体験
「カレー作りゲーム」の模様



親子のためのお金の広場
「ガチャピン&ムックとおかねのことを学ぼう」の模様



©FUJITV KIDS

(2) 「金融教育公開授業」の開催

【目的】

学校で実施される金融教育関連の実際の授業を、教育関係者、保護者、地域住民等多くの方々にご覧いただくことで、金融教育の重要性を広く理解していただくことを目的としています。

【内容】

金融・金銭教育研究校を中心に、実際の授業を参観していただくとともに、金融教育の専門家による講演等を併せて行う催しです。本事業は17年度に開始して以来5年目を迎え、全国33か所(*)の幼稚園、小学校、中学校、高等学校において開催しました(17～21年度累計で149か所で開催)。

(*) 新型インフルエンザ感染拡大防止ならびに悪天候のため、うち1先は講演会を中止、他に2先が開催を中止。

(敬称略)

| 開催日 | 開催校名 | 公開授業講師 | 公開授業内容 |
|-------------------|----------------------|--|---|
| | | 講演講師 | 講演テーマ・内容 |
| 平成21年 6月20日(土) | 高岡市立 南条小学校 | 同小学校教員、 西川育恵 (金融広報アドバイザー) | 「上手なお金の使い方～おこづかいゲームで考えよう!」(6年生対象) |
| | | あんびるえつこ (「子供のお金教育を考える会」代表) | 「カレー作りゲームで考える自分と地球にやさしいお金の使い方」 |
| 7月9日(木) | 佐賀県立 唐津商業 高等学校 | 糸山幸久 (佐賀銀行チーフ・ ファイナンシャルア ドバイザー) | 「ファイナンシャルプランナーから見た金融商品の実態」(3年生対象、会計科) |
| | | 同高等学校教員 細野真宏 (Hosono's Super School 代表) | 「エクセル関数を利用した簡単な意思決定(複利終価)」(3年生対象、会計科) 「金融・経済を学ぶ」 |
| 8月28日(金) | 札幌市立 上野幌 中学校 | 同中学校教員 | 「地域に店を出そう」(3年生対象) |
| | | 藤原和博 (「よのなか」ネット 主宰) | 「ハンバーガー店の店長になってみよう!」 |
| 9月8日(火) | 山形県立 小国高等 学校 | 同高等学校教員 | 「小切手について」(3年生対象、経済活動と法) |
| | | 加賀屋克美 (南加賀屋感動スト アーマネージメント 代表取締役) | 「日米のディズニーランドで学んだ感動のサービス」 |

| 開催日 | 開催校名 | 公開授業講師 | 公開授業内容 |
|---------------------|---------------|-----------------------------|--|
| | | 講演講師 | 講演テーマ・内容 |
| 9月18日(金) | 愛媛県立津島高等学校 | 同高等学校教員 | 「環境問題—ゴミの分別、節電節水—」 (1年生対象) 「働く意義と職業選択」(2年生対象) |
| | | 生島ヒロシ (キャスター) | 「日本経済と自分自身のためにできること」 |
| 10月2日(金) | 一宮市立奥小学校 | 同小学校教員 | 「どうしてすききらいをしてはいけないの?」(1年生対象) 「めざせ〇〇名人」(勤勉・努力)(2年生対象) 「人々のしごととわたしたちの暮らし」(3年生対象) 「仕事っているいろいろあるんだね」(4年生対象) 「将来のぼく、わたし」(5年生対象) 「税金について調べよう」(6年生対象) 「買い物をして調理してみよう」(特別支援学級対象) |
| | | 同小学校教員発表 | 研究発表『「学校・家庭・地域社会が連携し、自立して生きようとする子の育成」～地域学習や体験的な学習を通して～』 |
| | | いちのせかつみ (FP、生活経済ジャーナリスト) | 「小学生のお金に関するしつけ」 |
| 10月8日(木) (*開催中止) | 神奈川県立金沢総合高等学校 | 同高等学校教員 | 「消費者としての私たちと経済」(1年生対象、現代社会) |
| | | 宇都宮健児(弁護士) | 「多重債務に陥らないために」 |
| 10月9日(金) | 秋田市立秋田商業高等学校 | 同高等学校教員 | 「生きたビジネスから学ぶ価格決定のプロセス」(2・3年生対象、総合的な学習の時間) |
| | | 住田裕子(弁護士) | 「本当に怖い!!～金融トラブルから身を守るために～」 |
| 10月10日(土) | 下諏訪町立下諏訪社中学校 | いちのせかつみ (FP、生活経済ジャーナリスト) | 「世界一おもしろい経済学」(3年生対象) |
| | | — | — |

| 開催日 | 開催校名 | 公開授業講師 | 公開授業内容 |
|----------------------|-----------------------|---------------------------------------|---|
| | | 講演講師 | 講演テーマ・内容 |
| 10月14日(水) | 身延町立 下山小学校 | 同小学校教員 | 「つくってワクワク あそんでワイワイ」 (1・2年生対象) 「見直そうわたしたちの暮らし」(3年生対象) 「健康なくらしと町づくり～水はどこから～」(4年生対象) 「情報の価値について考えよう～コンビニの店長になってみよう～」(5年生対象) 「お金とは何か考えよう～日本のお金の歴史をさぐる～」(6年生対象) |
| | | 田中優 (未来バンク事業 組合理事長) | 「お金の使い方を考える」 |
| 10月16日(金) | 茨城県立 日立商業 高等学校 | 同高等学校教員 | 「お金の価値を考えよう」(1年生対象、情報 処理科) 「市場の仕組みについて」、「計画的にお金を 使おう」、「クレジットについて考えよう」(3 年生対象、商業科) |
| | | 住田裕子(弁護士) | 「気をつけよう！金融トラブルは避けられ る」 |
| 10月22日(木) (*開催中止) | 長浜市立 長浜小学校 | 同小学校教員 | 「人やものとのかわりを通して豊かな心を 育む」(全学年対象) |
| | | 榎本英樹 (NPO法人生涯 学習サポート兵庫 指導局長) | 「働ける喜びとお金～子どもたちが無人島キ ャンプで学んだお金とは？～」 |
| 10月22日(木) | 学校法人 淳心学院 海星幼稚園 | 同幼稚園教諭 | 公開保育「いのちを伝える ありがとう！」 (4歳児・5歳児対象) |
| | | いちのせかつみ (FP、生活経済 ジャーナリスト) | 公開授業「お・か・ねって？」(5歳児対象) |
| | | いちのせかつみ | 「子どもはお金が好きやねん！」 |
| 10月26日(月) | 玉川学園 中学部 | 同中学校教員 | 「リスクとは何か、今後の50年間の人生を考 える」、「金融に関わる身の回りのリスクを考 える」(3年生対象) |
| | | 藤沢久美 (シンクタンク・ ソフィアバンク 副代表) | 「生きるヒントと未来への希望～明るい未来 をみんなで創る～」 |

| 開催日 | 開催校名 | 公開授業講師 | 公開授業内容 |
|-----------|----------------------|-----------------------------------|---|
| | | 講演講師 | 講演テーマ・内容 |
| 10月28日(水) | 登米市立 中田幼稚園 | 同幼稚園教諭 | 公開保育「エコで楽しく（お店屋さんごっこをしよう）」（4歳児・5歳児対象） |
| | | 同幼稚園教諭発表 | 研究発表「すすんでものを大切にする幼児の育成～人・物・自然とのかかわりを通して」 |
| | | いちのせかつみ （FP、生活経済 ジャーナリスト） | 「親子で考える、お金って何？～ものを大切にする子どもを育てるために」 |
| 10月28日(水) | 糸魚川市立 糸魚川 中学校 | 同中学校教員 | 「消費者の暮らしと経済」（3年生対象） |
| | | ダニエル・カール （翻訳家・タレント、 山形弁研究者） | 「日本とアメリカの違いから学ぶ賢い消費者へのみち」 |
| 10月28日(水) | 向陽高等学 校（橘香館） | 同高等学校教員 | 「株式投資の体験から気付く社会のつながり」（1年生対象、総合的な学習の時間） |
| | | あんびるえつこ （「子供のお金教育 を考える会」代表） | 「生きていくためのお金の話」 |
| 10月31日(土) | 山形県立 米沢商業 高等学校 | 同高等学校教員 | 「金融機関のビジネス」（1年生対象、ビジネス基礎） |
| | | 住田裕子（弁護士） | 「気をつけよう！金融トラブル—高校生に知っておいてほしいこと」 |
| 10月31日(土) | 岡山県立 津山商業 高等学校 | 同高等学校教員 | 「10代から学ぶパーソナルファイナンス」（2年生対象、総合的な学習の時間） 「課題研究（ファイナンシャル・プランナー）」（3年生対象、商業科） 「経済活動と法」（3年生対象、地域ビジネス科） |
| | | あんびるえつこ （「子供のお金教育 を考える会」代表） | 「生きていくためのお金の話」 |
| 11月4日(水) | 千葉県立 四街道 高等学校 | 同高等学校教員 | 「私の命を育んだお金はいくら？私の人生に関わるお金はいくら？」（3年生対象） |
| | | いちのせかつみ （FP、生活経済 ジャーナリスト） | 「知らんとアカン！お金のトラブル110番」 |

| 開催日 | 開催校名 | 公開授業講師 | 公開授業内容 |
|-----------------------|--------------|------------------------------------|---|
| | | 講演講師 | 講演テーマ・内容 |
| 11月6日(金) | 小郡市立大原小学校 | 同小学校教員 | 「ものをたいせつに『あおいじてんしゃ』」(1年生対象) 「町で生活し、働く人とのつながりを考えよう」(2年生対象) 「物を大切に『えんぴつはなんさい』、「もったいない 上手なお金の使い方を考えよう」(3年生対象) 「ごみ減量・エコアップ大作戦」(4年生対象) 「食と食をとりまく環境を考えよう～食は田んぼにあり～」(5年生対象) 「金銭や物の使い方を考えよう」、「税と私たちの暮らし」(6年生対象) 「電車に乗って買い物しよう」(あおぞら・かがやき学級対象) |
| | | 同小学校教員発表 | 研究発表『ものやお金を大切に作る心豊かな子どもの育成』～大原プログラムに基づいた体験活動を通して～ |
| | | いちのせかつみ (FP、生活経済ジャーナリスト) | 「子ども達の生きる力と金銭教育」 |
| 11月9日(月) | 宇都宮市立戸祭小学校 | いちのせかつみ (FP、生活経済ジャーナリスト) | 「し・ご・とってナニ?お・か・ねってナニ?」(6年生対象) |
| | | いちのせかつみ | 「欲しいモノと必要なモノ!賢くお金と付き合う方法」 |
| 11月13日(金) | 石巻市立女子商業高等学校 | 同高等学校教員 | 「カード時代を生き抜く～生活力向上を目指して～」(1年生対象、ビジネス基礎) 「ネットワークビジネスの課題～ネット社会の光と影～」(2年生対象、ビジネス情報) |
| | | 細野真宏 (Hosono's Super School 代表) | 「金融・経済をなぜ学ぶのか」 |
| 11月13日(金) (*講演会中止) | 神戸市立神港高等学校 | 同高等学校教員 | 「いつでもどこでも身近にある悪徳商法」(1年生対象、ビジネス基礎) 「計画的にお金を使う、『ひとり暮らしの生活費』収支の合った楽しい生活」(2年生対象、家庭総合) 「未来の自分と取引できるか—金融を通して社会を考える—」(3年生対象、政治経済) |
| | | 宇都宮健児(弁護士) | 「多重債務問題と弁護士の仕事」 |
| 11月19日(木) | 大阪府立福泉高等学校 | 同高等学校教員 | 「貧困化する社会と貧困ビジネス」(3年生対象、現代社会) |
| | | 宇都宮健児(弁護士) | 「人生も仕事もやり直せる—貧困なき社会をめざして」 |

| 開催日 | 開催校名 | 公開授業講師 | 公開授業内容 |
|-----------|-----------------------|-----------------------------------|---|
| | | 講演講師 | 講演テーマ・内容 |
| 11月20日(金) | 栗原市立 畑岡小学校 | 同小学校教員 | 「だんボールで絵本をつくろう」(1年生対象) 『空缶鳥』から学んだことを考えよう(3年生対象) 「金銭や物の使い方を考えよう」(5年生対象) |
| | | 同小学校教員発表 | 研究発表「お金やものを大切に育てる子どもの育成～授業と体験的活動との関連を生かした指導の工夫を通して～」 |
| | | 阿部信太郎 (城西国際大学 准教授) | 「お金やものの使い方の工夫に関心を持たせる金銭教育」 |
| 11月20日(金) | 愛知県立 春日井商業 高等学校 | 同高等学校教員 | 「5伝票制による記帳」(1年生対象、簿記) 「マクドナルドのビッグマックセットの値段はどこでも同じか」(1年生対象、ビジネス基礎) 「単利・複利の仕組みを理解しよう」(1年生対象、情報処理) 「頭金と返済額の関係はどうなりますか」(2年生対象、ビジネス情報) 「多重債務」(3年生対象、経済活動と法) 「ビジネスプランを発表～起業家になろう」(3年生対象、課題研究) 「所得税控除」(3年生対象、課題研究) 「今回の出店計画は成功したのか」(3年生対象、課題研究) |
| | | 同高等学校教員発表 | 研究発表「生きる意欲と活力を持ち、自立した消費者であるために」 |
| | | あんびるえつこ (「子供のお金教育 を考える会」代表) | 「生きていくためのお金の話」 |
| 12月4日(金) | 豊前市立 横武小学校 | 同小学校教員 | 「ことばって、おもしろいなものなまえ」(1年生対象) 「つたえたいね！よこたけのたから」(2年生対象) 「上手なお金の使い方」(3年生対象) 「M O T T A I N A I を考えよう」(4年生対象) 「工夫しよう！かしこい生活」(5年生対象) 「算数島の大冒険 買い物上手はだれ？」(6年生対象) |
| | | 同小学校教員発表 | 研究発表「社会と関わる力を育み、よりよく生きる子どもの育成～金融教育プランの策定・実施・改善～」 |
| | | ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究家) | 「金融教育を考える～日米の生活体験を通じて～」 |

| 開催日 | 開催校名 | 公開授業講師 | 公開授業内容 |
|-----------|----------------|-----------------------------|--|
| | | 講演講師 | 講演テーマ・内容 |
| 12月10日(木) | 福岡県公立古賀竟成館高等学校 | 同高等学校教員 | 「国際経済の仕組み～ゲームで貿易を体験する～」(1年生対象、現代社会) 「消費生活の変化と消費者～消費者信用について考えよう～」(2年生対象、家庭基礎) 「株式投資を体験する」(3年生対象、金融経済) |
| | | いちのせかつみ (FP、生活経済ジャーナリスト) | 「本当に怖いお金のはなし」 |
| 12月14日(月) | 静岡県立浜松東高等学校 | 同高等学校教員 | 「Notes and coins of the World (世界の通貨、物価の違い)」(1年生対象、外国語) 「外国為替と為替レートの変動」(1年生対象、現代社会) 「金融情報のネット検索」(1年生対象、情報) 「財政」(1年生対象、現代社会) 「お金の計算」(1年生対象、数学) 「未来世代への責任」(2年生対象、国語) 「複利計算」(2年生対象、数学) 「消費行動と意思決定」(2年生対象、家庭総合) 「エクセルを利用したライフプラン設計」(3年生対象、ビジネス情報) 「表計算ソフトを利用した金利計算」(3年生対象、情報処理) |
| | | いちのせかつみ (FP、生活経済ジャーナリスト) | 「知らんとアカン! お金のトラブル110番」 |
| 12月15日(火) | 富山県立富山商業高等学校 | 同高等学校教員 | 「ビジネス基礎-小切手を作ってみよう!」(1年生対象、情報処理科) |
| | | 住田裕子(弁護士) | 「だまされないで!～金融トラブルから身を守るために」 |
| 12月16日(水) | 群馬県立館林商工高等学校 | 同高等学校教員 | 「経済とお金～消費生活からみる経済のしくみ」(1年生対象、ビジネス基礎) 「くらしと経済」(2年生対象、現代社会) 「マネーマネジメント～自立への一歩」(3年生対象、LHR) |
| | | 同高等学校生徒発表 | 「シクラメン・ボウの奇跡～広がり続ける館商工の挑戦」 |
| | | いちのせかつみ (FP、生活経済ジャーナリスト) | 「人生の主役はキミだ! 夢を形に!」 |

| 開催日 | 開催校名 | 公開授業講師 | 公開授業内容 |
|------------------|-------------------------------|---------------------------------|--|
| | | 講演講師 | 講演テーマ・内容 |
| 12月16日(水) | 利根沼田 学校組合立 利根商業 高等学校 | 同高等学校生徒発表 | 「模擬株式会社利根商峻嶺祭株主総会」 |
| | | 住田裕子（弁護士） | 「身近に潜む若者の金融・消費者トラブル」 |
| 平成22年 2月2日（火） | 観音寺市立 柞田小学校 | 同小学校教員 | 「学用品を大切に使おう」（3年生対象） 「おかあさんへの請求書」（4年生対象） |
| | | 同小学校教員発表 | 研究発表「お金や物の大切さを理解し、自分や家族の生活について考え、主体的に行動しようとする子どもの育成」 |
| | | いちのせかつみ （FP、生活経済 ジャーナリスト） | 「お・か・ね・って？必要なモノと欲しいモノ」 |
| 2月5日（金） | 山口県立 光丘高等 学校 | 同高等学校教員 | 「自立した生活者・社会人になるための金融入門」 |
| | | 岩重佳治（弁護士） | 「誰もが暮らしやすい世の中に～多重債務問題を題材に～」 |

（「金融教育公開授業」参照先）

<http://www.shiruporuto.jp/event/2009/09jugyo/index.html>

(3) 「教員のための金融教育セミナー」の開催

【目的】

小学校・中学校・高等学校の先生方に、金融教育の意義・必要性について理解、認識を深めていただき、学校の授業などにおける、より効果的な指導・実践方法を共有し、さらに発展させていただくことを目的としています。

【内容】

金融教育の実践事例紹介やこれに基づくワークショップ、関連テーマでのパネル・ディスカッションなどを組み合わせたセミナーで、本年度で通算 11 回目の開催となります。午前は金融教育に関する有識者によるパネル・ディスカッション、午後は、平成 21 年 3 月に当委員会より発刊した「はじめての金融教育－ワークシート付き入門ガイドと実践事例集－」を執筆いただいた先生方などによる金融教育の実践報告とワークショップを行いました。

(敬称略)

| | |
|-----|--|
| 行事名 | 「教員のための金融教育セミナー」(平成 21 年度) |
| 日時 | 平成 21 年 8 月 5 日(水) 9:30~16:30 |
| 主催等 | 主催：金融広報中央委員会 後援：文部科学省、金融庁、東京都教育委員会、日本銀行、全国公民科・社会科教育研究会 |
| 内容 | <p>【来賓挨拶】 来賓：梶山 正司(文部科学省初等中等教育局視学官)</p> <p>【パネル・ディスカッション】 「子どもをめぐる社会環境と学校における金融教育」 宇都宮 健児(弁護士) 工藤 文三(国立教育政策研究所初等中等教育研究部長・教育課程研究センター基礎研究部長<併任>) 三枝 利多(東京都目黒区立目黒中央中学校教諭) <コーディネーター> 河野圭志(金融広報中央委員会事務局長)</p> <p>【分科会 1 (小学校)】 進行およびコメント：北 俊夫(国士舘大学教授)</p> <p>●報告・ワークショップ(1) 「お金は大切に使おう～正しい金銭感覚を養って、よりよい生活を～」 報告者：木村 良平(東京都北区立西浮間小学校校長)</p> <p>●報告・ワークショップ(2) 「米作りの会社『なめがたガキンチョ米会社』経営の試み」</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>報告者：山本 良信（茨城県神栖市立横瀬小学校教頭）</p> <p>【分科会 2（中学校）】</p> <p>進行およびコメント：工藤 文三（国立教育政策研究所初等中等教育研究部長・教育課程研究センター基礎研究部長＜併任＞）</p> <p>●報告・ワークショップ（1） 「起業体験学習『株式会社 黒潮』 ～人とのつながりを大切にした活動を通して～」 報告者：増田 富（静岡県静岡市立安東中学校教諭）</p> <p>●報告・ワークショップ（2） 「企業（会社）を作ってみよう～金融機関の働きに留意して～」 報告者：仲村 秀樹（東京都港区立朝日中学校主幹教諭）</p> <p>【分科会 3（高等学校）】</p> <p>進行およびコメント：西村 隆男（横浜国立大学教育人間科学部教授）</p> <p>●報告・ワークショップ（1） 「『フェア（公正）』な経済行為とは、そして『お金』とは？ ～経済ニュースからアプローチする『金融経済学習』～」 報告者：梶ヶ谷 穰（神奈川県立海老名高等学校教諭）</p> <p>●報告・ワークショップ（2） 「生徒自主開発商品『オリジナル鞆』の開発・販売 ～近江商人の『三方よし』を实践し、お金を得る喜びを体験しよう～」 報告者：田村 光宏（滋賀県立大津商業高等学校教諭）</p> |
|--|---|

（「教員のための金融教育セミナー」参照先）

<http://www.shiruporuto.jp/event/2009/09semi/index.html>

2. 啓発資料・教材類

【目的】

金融知識普及のための啓発資料・教材を金融経済環境の変化や諸制度の改正等も踏まえつつ中立・公正な立場から作成しているほか、金融教育の実践に役立つ啓発資料・教材を作成し、提供しています。また、金融広報中央委員会の活動をより幅広い層の方々に知っていただくことを目的として、広報誌や活動紹介パンフレット類を提供しています。

【内容】

対象や目的別に各種の啓発資料・教材類を作成し、都道府県金融広報委員会等を通じて配付しています。

本年度は、学校や家庭での金融教育のきっかけとなる小学生向けホームページコンテンツ「おかねのね」のワークブック（抜き刷り冊子）を新たに作成しました。また隔年発行となっている「金融商品なんでもデータ」、金融や消費生活に関する基礎知識・用語解説書である「ビギナーズのためのファイナンス入門」などの改訂を実施しました。

また、季刊発行の広報誌「暮らし塾 きんゆう塾」について、「生活設計」、「金融トラブル防止」、「金融経済の基礎知識」などの各分野をバランスよく掲載し、“暮らしに役立つ金融知識”の普及に役立てました。

一方、内容が陳腐化し、他の啓発資料・教材でも代替可能と判断した「わが家の生活設計表」、「明るい生活の家計簿」、「マネー君と学ぼう！お金の上手な使い方」、「お金の役割って何だろう？」については廃刊としました。

(1) 「暮らしと金融なんでもデータ」の改訂・発行

【目的】

「暮らしと金融なんでもデータ」は、暮らしと金融、生活設計に関連した主要なデータを幅広く収録しています。昭和47年から刊行し続けている統計集で、平成19年から隔年発行としています。

【内容】

今年度版は、次の構成で作成しています。

(表1) 目次タイトル

| | | |
|----------|-------|--------------|
| ①家計の収支 | ⑤住宅 | ⑨高齢化 |
| ②金融資産と負債 | ⑥冠婚葬祭 | ⑩社会保障 |
| ③雇用・労働 | ⑦消費関連 | ⑪生活や金融に関する意識 |
| ④教育・子育て | ⑧老後 | ⑫一般経済指標 |

(表2) 内容

| | |
|---------------------|---|
| 生活設計・家計管理に関する分野 | 金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」や総務省統計局「家計調査」を中心に、「①家計の収支」では家計の収入や支出の統計を、「②金融資産と負債」では、一世帯当たり金融商品保有額や勤労者世帯の住宅ローン負担等を取り上げています。また、「⑧老後」では、高齢者世帯の所得や介護に関する調査結果などを紹介しています。 |
| 仕事や教育に関する分野 | 「③雇用・労働」で生涯賃金や年間休日数などを紹介しています。また、「④教育・子育て」では、教育費や大学生の生活費などを掲載しています。 |
| 消費生活・金融トラブル防止に関する分野 | 「⑪生活や金融に関する意識」では、消費生活センターへのジャンル別相談件数や、金融広報中央委員会「金融に関する消費者アンケート調査」などを用いて金融トラブルなどの経験を紹介しています。 |
| 金融や経済のしくみに関する分野 | 「⑫一般経済指標」では、内閣府「国民経済計算」、日本銀行「金融経済月報」などより、国内総生産の推移や株価指数を始めとする金融指標の国際比較などを時系列で掲載しています。 |

(2) ホームページコンテンツ「おかねのね」ワークブックの作成

【目的】

小学生を対象とする授業や親子向けセミナーなどで利用できるよう、当委員会のホームページで提供している金融教育教材「おかねのね」のワークシートなどを中心に一部のコンテンツを抜粋し、ワークブック（抜き刷り冊子）を作成しました。

金融広報アドバイザーを中心に、金融広報活動関係者による活用を想定しています。

【内容】

「おかねのね」は、小学生を対象として、主に家庭において保護者とともに学んでいただくことを目的とする金融教育教材です（ホームページで平成20年3月提供開始）。ホームページでは学年段階別に68のテーマを扱っていますが、本ワークブックでは、その中からワークシートを用いてワークを行ったり話し合ったりするテーマを中心に取り上げました。学年段階ごとに4つの道場からそれぞれ1つのテーマを選んで、「小学校1・2年生用」「小学校3・4年生用」「小学校5・6年生用」のワークブックとしてまとめました。



(「おかねのね」参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/teach/katei/okanenone/index.html>

(3) 「暮らし塾 きんゆう塾」の季刊発行

【目的】

金融広報中央委員会の広報誌としての位置付けで、幅広い層を対象に、当委員会の目指す金融広報および金融教育の考え方や当委員会活動をわかりやすく伝えることを目的に、3か月に1回発行しています。とくに、平成21年度は、「生活設計」、「金融トラブル防止」、「金融経済の基礎知識」など、各分野のコンテンツをバランスよく掲載し、一般消費者向けの金融知識普及のツールとして位置付けています。

【内容】

今年度は、次の構成で作成しました。

| 狙いの分類 | 構成内容 |
|----------------|---|
| 金融知識等の解説 | <ul style="list-style-type: none">・ 暮らしに役立つ金融知識解説 「とてもリスクの高い運用商品の見分け方、つきあい方」、「住宅購入資金 ローンの選び方、そのポイントとは?」、「債券」について知ろう、「共働きの家計管理術」など・ 金融トラブル防止のための知識解説 「未公開株取引詐欺」、「社債取引詐欺」、「私設投資信託詐欺」、「インターネット不正融資」など |
| 金融教育の実践事例紹介 | <ul style="list-style-type: none">・ 金融教育の現場レポート |
| 当委員会の考え方を伝える記事 | <ul style="list-style-type: none">・ 巻頭インタビュー（生きる力を考える内容等）・ 暮らしの中の金融経済学に関する連載エッセイ・ 「おもいやり講座」（贈り物、ビジネスマナー等）、「次代に伝えたい、暮らしに根付く文化」（水とともに生きる文化、収穫祭、郷土の味、民謡） |
| 当委員会の活動を紹介する記事 | <ul style="list-style-type: none">・ 中央委員会の活動紹介・ 各地委員会および金融広報アドバイザーの活動紹介・ 知るぼるとミュージアム・ 「おかねのね」の紹介 |

(4) 教員向け冊子「はじめての金融教育」の普及促進

【目的】

多くの学校の先生方に金融教育に関心をもってもらい、金融教育実践の手がかりを得ていただくための「入門ガイド」とすることを主な目的としています。

【内容】

平成 21 年 3 月に「はじめての金融教育－ワークシート付き入門ガイドと実践事例集－」を発刊し、全国の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、特別支援学校、教育委員会、教育学部を有する大学等に配付したほか、当委員会のホームページに掲載しています。

本年度は、さらに各地の教育委員会や学校等への訪問時、東京をはじめ各地での教員セミナー開催時などの機会を捉え、本冊子の紹介に努め、金融教育についての理解を深めていただくとともに、その活用と実践への取組みを促しました。

－ 本書の作成に当たっては、「金融教育ガイドブック－学校における実践事例集－」(平成 17 年 3 月)、「金融教育プログラム－社会の中で生きる力を育む授業とは－」(平成 19 年 2 月)に続き、幼稚園から高等学校までの優れた実践事例を紹介するとともに、小学校および中学校の 3 つの事例について、実践された先生方にインタビューを行い、着想を得てから実践し、その振り返りを行うまでのプロセスを詳述しました。

－ さらに、これらの授業で使用されたワークシートや資料を別冊化し、複写等により、すぐに授業で使えるように工夫しているほか、当委員会ホームページでは、全てのワークシートを PDF ファイルだけでなく、汎用ワープロソフト形式でも掲載し、学校の先生方の自由な使用を可能としています。

1. 金融教育入門ガイド

(1) 小学校における入門ガイド

「移動教室でのおみやげ購入を通じた実践的な金融教育の展開」

(2) 中学校(社会)における入門ガイド

「家計のシミュレーションゲームと模擬商談」

(3) 中学校(技術・家庭<家庭分野>)における入門ガイド

「賢い消費者になろう ロールプレイング」

(4) 金融教育 Q & A

(5) ビデオの貸出

【目的】

金融経済情報の提供や金融経済学習の支援に関して、視聴覚教材を用いてよりわかりやすく効果的に行うことを目的としています。

【内容】

視聴覚教材として作成・購入したビデオ教材を、都道府県金融広報委員会、日本銀行支店・事務所を通じて一般の方々へ貸出しています。また、一部の作品については、当委員会のホームページで視聴することも可能です。

【平成 21 年度中に貸出した主なビデオ】

| 題 名 |
|---|
| ホシガリ姫の冒険 |
| 100 万円あったら、どうする？ |
| UFO につかまった子供たち |
| 多重多額債務への道～パチンコ破産～ |
| ビッグバンファミリー Vol.1 【金融ビッグバンってなに？】 Vol.2 【金融商品・金融機関の選び方】 |
| 契約って何？～消費者としての自立～ |
| WHAT'S 自己責任？ |
| アナタを狙うあまい罠～若者編～ |
| お金は回る～くらしと金融～ |
| お金って何？～リスクと自己責任～ |
| 謎解！若者的経世済民 |

(6) 各種メディアを通じた情報発信の促進

【目的】

金融広報中央委員会の活動内容の紹介や“知るぽると”（金融広報中央委員会の愛称）の知名度向上を図るものです。

【内容】

費用対効果の観点から、今年度より、知名度向上のみを目的とした広告は取止め、金融教育フェスティバル等、イベントの告知に合わせて、“知るぽると”を情宣する方法に変更しました。媒体としては、新たに新聞折込みチラシを採用したほか、無料のパブリシティ（フリーペーパー等）による情宣を強化しました。さらに、全国紙2紙に当委員会活動を紹介するコラムを連載（無料）しました。

(7) ホームページを通じた情報発信

【目的】

当委員会では、暮らしに役立つ身近な金融経済情報をタイムリーにかつ幅広く提供するため、平成9年度からホームページを開設しています。

【内容】

本年度は、啓発資料・教材の作成・改訂に伴うホームページコンテンツ更新や、イベント告知コンテンツの作成・掲載を実施し、毎月約10～20件の新着情報を配信しました。こうした中、「みんなの家計簿」ソフトの掲載取止め等の影響から、本年度のアクセス件数は、累計1,348万件、一日平均3万6千件と、前年度に比べ約3割強減少しました。

【トップページ】

The screenshot shows the homepage of the Financial Education Center of the Bank of Japan. The header includes the logo '知るほると' (Shiru Horotto) and the text '金融広報中央委員会 (事務局 日本銀行情報サービス局)'. There is a search bar and links for 'サイトマップ' and '新着情報@情報メール'. The main content area is divided into several columns: '金融と経済のしくみ', '暮らしのマネー情報', '教える学ぶ', '暮らしのお役立ちツール', 'お知らせ・イベント', and '知るほるとについて'. Below these are sections for 'ユーズ別コンテンツ' (Kids, Young, Family, Seniors, Financial Education) and 'What's New' news items. A sidebar on the right contains 'Quiz!', 'おかげね', '金融学習', '刊行物のご案内', and '広聴' sections.

3. コンクール

(1) 「金融教育を考える」小論文コンクール

【目的】

学校教育における「金融教育」の重要性が指摘される中、「金融教育」のあり方に関する学校教育関係者の関心を高め、また、議論を深めていくことを目的に、金融経済教育に関する実践報告や研究結果、提言などをテーマとする小論文コンクールを実施しました。

【内容】

全国の幼稚園教諭、小学校・中学校・高等学校教諭、大学院生、大学教員など研究者を対象に、金融経済教育に関する実践報告や研究結果、提言などを小論文形式で募集しました。当コンクールは本年度で6回目となります。

【審査員】

(敬称略)

| | |
|-------|--|
| 阿部信太郎 | 城西国際大学准教授 |
| 宇都宮健児 | 弁護士 |
| 工藤 文三 | 国立教育政策研究所初等中等教育研究部長・教育課程研究センター基礎研究部長<併任> |
| 西村 隆男 | 横浜国立大学教授 |
| 牧野カツコ | お茶の水女子大学名誉教授 |
| 行成 卓巳 | NHK制作局第2制作センター経済・社会情報番組部長 |
| 須田美矢子 | 日本銀行政策委員会審議委員 |
| 小林 信介 | 金融広報中央委員会会長 |

【応募状況と審査結果】

応募総数は25編でした（前年度は31編）。審査の結果は以下のとおり、優秀賞4編、奨励賞3編を入賞作品として表彰しました（特賞該当なし）。

【表彰論文】

(優秀賞) 4編 (敬称略)

| 入賞者 | 作品名 |
|-----------------------------------|---|
| 東京 早稲田大学大学院ファイナ ンス研究科 永井桂太郎 | これからの時代に求められる金融教育 ～早期に金融教育の独立教科化、一貫教育化、 専門教員を拡充することを提言する～ |
| 静岡 浜松市立佐久間中学校 原田功 | 働く喜びを引き出すキャリア教育 ー木工製品の製作から販売までー |
| 徳島 阿南市立平島小学校 尾川弘美 | 地産地消にこだわる (株)「HIRAJIMA 海の幸・山の幸プロジェクト」の実践から ～金銭・金融教育のさらなる可能性を希求して～ |
| 福岡 添田町立津野中学校 森孝太郎 | 生産・加工・販売・消費活動 ～第一・二・三次産業と買い物の取組～ |

(奨励賞) 3編 (敬称略)

| 入賞者 | 作品名 |
|---------------------------------|--|
| 東京 学習院大学経済学部非常勤 講師 武石誠 | 大学における金融教育拡充に向けた提言 |
| 東京 東京学芸大学附属国際中等 教育学校 古家正暢 | 私たちが企業を応援することで地球環境問題に 貢献できないか ー国際社会 F の授業実践を通してー |
| 東京 一橋大学大学院商学研究科 真柄匠 | 危機管理能力を身につけるための金融教育 |

(「金融教育を考える」第6回小論文コンクール参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/teach/school/kyoin2009/index.html>

(2) 「金融と経済の明日」高校生小論文コンクール

【目的】

高校生・高等専門学校生に、金融や経済について関心を持たせ、自身の考えを論理的に記述することを通じて思考力や表現力を高めることを目的としています。

【内容】

高校生および高等専門学校生を対象に6つのテーマを設け、小論文形式で募集しました。本年度で7回目となります。

【募集テーマ】

- (1) あなたのライフプランと働くことについて考えよう
- (2) 超高齢社会におけるこれからの年金・保険
- (3) 世界の経済情勢について考える
- (4) 日本経済を活性化する将来有望な産業とは
- (5) インターネット取引の上手な活用方法
- (6) その他（自由テーマ）

【審査員】

(敬称略)

| | |
|-------|----------------------------------|
| 伊藤元重 | 東京大学大学院経済学研究科教授兼任総合研究開発機構 理事長 |
| 細野真宏 | Hosono's Super School 代表 |
| 櫻井純子 | 聖学院大学非常勤講師 |
| 山本賢二 | 金融庁総務企画局政策課課長補佐 |
| 永井克昇 | 文部科学省初等中等教育局視学官 |
| 清水頭賢二 | 全国公民科・社会科教育研究会副会長 |
| 河野圭志 | 日本銀行情報サービス局長 |
| 小林信介 | 金融広報中央委員会会長 |

【応募状況と審査結果】

本年度は学校応募が64校、個人応募が30件で計1,956編の応募（前年度は、学校応募78校、個人応募29件で計2,082編）をいただきました。

審査の結果は以下のとおり、特選5編、秀作5編、佳作50編を入賞作品として表彰しました。このうち、特選、秀作、学校賞の入賞結果は、次のとおりです（佳作入賞者は当委員会ホームページを参照）。

【表彰論文】

(特選) 5編

(敬称略)

| 入賞者 | 作品名 |
|--|-------------------|
| 特選・金融担当大臣賞 大阪 東大谷高等学校 1年 西澤友香梨 | アート産業で活性化 |
| 特選・文部科学大臣賞 東京 中央大学高等学校 3年 日比谷亘代 | 農業による経済活性化を |
| 特選・日本銀行総裁賞 長崎 長崎県立佐世保西高等学校 1年 永吉史典 | 高齢者が住みよい社会を目指して |
| 特選・全国公民科・社会科教育研究会会長賞 大分 大分東明高等学校 2年 河野紗織 | 地元への愛で地域おこし |
| 特選・金融広報中央委員会会長賞 兵庫 兵庫県立小野高等学校 1年 東條早祐実 | 自分だけのライフプランを作るために |

(秀作) 5編

(敬称略)

| 入賞者 | 作品名 |
|----------------------------|------------------|
| 福島 福島県立福島高等学校 1年 伊藤可奈子 | 見つけた夢のために必要なこととは |
| 福島 福島県立福島高等学校 1年 武藤由奏 | 過疎化と地域経済 |
| 三重 三重県立桑名西高等学校 2年 穂坂喬子 | 働くことの意義 |
| 静岡 静岡市立商業高等学校 3年 杉本沙希 | フードビジネスと日本経済の将来 |
| 愛知 愛知県立岡崎商業高等学校 3年 村松里香 | これからの福祉の制度 |

(学校賞)

| | |
|----|--------------|
| 福島 | 福島県立福島高等学校 |
| 三重 | 三重県立桑名西高等学校 |
| 静岡 | 静岡市立商業高等学校 |
| 愛知 | 愛知県立岡崎商業高等学校 |

(「金融と経済の明日」第6回高校生小論文コンクール参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/teach/yomu/ron2009/index.html>

(3) 「おかねの作文」コンクール

【目的】

中学生に金融や経済に興味を持たせ、それを作文に仕上げることを通じて考える力、伝える力を養っていただくことを目的としています。

【内容】

中学生を対象に6つのテーマを設け、作文を募集しました。当コンクールは本年度で42回目となります。

【募集テーマ】

- (1) 私の活きたおかねの使い方
- (2) いま、地域を元気にしている会社や商店について考える
- (3) 将来の夢の実現とおかねの関わり
- (4) 携帯電話やインターネットとの付き合い方
- (5) 悪質商法の被害にあわないためのわが家の対策
- (6) その他（自由テーマ）

【審査員】

(敬称略)

| | |
|-------|--------------------------|
| 岩男篤 | 金融庁総務企画局政策課金融知識普及係長 |
| 渡辺裕人 | 文部科学省初等中等教育局教育課程課課長補佐 |
| 相川敬 | (社)日本PTA全国協議会会長 |
| 小林良雄 | 全日本中学校国語教育研究協議会会長 |
| 渋谷康一郎 | 日本銀行情報サービス局統括参事役 |
| 國光幸人 | 金融広報中央委員会事務局 金融教育プラザリーダー |

【応募状況と審査結果】

本年度は学校応募が588校、個人応募が78件で計4,444編の応募（前年度は学校応募579校、個人応募41件で計4,146編）をいただきました。

審査の結果は以下のとおり、特選5編、秀作5編、佳作50編を入賞作品として表彰しました。このうち、特選、秀作、学校賞の入賞結果は、次のとおりです（佳作入賞者は当委員会ホームページを参照）。

【表彰論文】

(特選) 5編

(敬称略)

| 入賞者 | 作品名 |
|--|---------------------------|
| 特選・金融担当大臣賞 愛知 名古屋市立守山西中学校 3年 山田つかさ | 価値あるお金の使い方 |
| 特選・文部科学大臣賞 群馬 千代田町立千代田中学校 1年 植木千恵 | 悪徳商法の被害にあわないための 我が家の対策 |
| 特選・日本銀行総裁賞 愛知 岡崎市立甲山中学校 2年 鈴木崇造 | 祖母の通知表 |
| 特選・日本PTA全国協議会会長賞 兵庫 灘中学校 3年 平井宏和 | 携帯電話とインターネット |
| 特選・金融広報中央委員会会長賞 兵庫 灘中学校 3年 馬場悠輔 | 見えない軌跡は |

(秀作) 5編

(敬称略)

| 入賞者 | 作品名 |
|-------------------------|---------------|
| 滋賀 近江兄弟社中学校 1年 一円泰平 | お金の重み |
| 大分 大分市立明野中学校 1年 森山心月 | インターネットについて学ぶ |
| 京都 京都市立岡崎中学校 2年 木村美咲 | 携帯電話は必要か？ |
| 京都 京都市立嵯峨中学校 3年 児嶋寛治 | 僕にも出来る人助け |
| 熊本 熊本市立出水中学校 3年 野田京 | 資産家の英断 |

(学校賞)

| |
|----------------|
| 愛知 名古屋市立守山西中学校 |
| 群馬 千代田町立千代田中学校 |
| 愛知 岡崎市立甲山中学校 |
| 兵庫 灘中学校 |

(第42回「おかねの作文」コンクール参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/teach/yomu/saku2009/index.html>

Ⅱ 調査研究活動

1. 家計の金融行動に関する世論調査

【目的】

この調査は、金融広報中央委員会が、①家計の資産・負債や家計設計などの状況を把握し、これらの公表を通じて金融知識を身につけることの大切さを広報すること、②家計行動分析のための調査データを提供すること、の2つを目的として毎年実施しています。

【内容】

当調査については、19年度に、統計の有用性を高めるため、調査方法の全面的見直しと設問の拡充を実施し、これにあわせて調査名称を変更しました。

21年度は、19年度の見直しを引き続き踏襲したうえで、家計の金融資産・負債や家計設計の状況などについて、全国の二人以上世帯8千世帯を対象に標本抽出調査し、約5割の世帯(4,026世帯)から回答を得たほか、単身世帯調査については、インターネット調査により2,500モニターを対象に調査しました。

・二人以上世帯の調査概要

| | |
|-------|--|
| 調査の内容 | (主な調査項目) (1) 金融資産の状況等 貯蓄の有無、金融資産保有額、内訳等 (2) 金融負債の状況等 借入金の有無、借入金残高、借入の目的等 (3) 実物資産・住居計画 住居の状況、住宅取得必要資金、この一年以内の土地・住宅の取得、増改築、売却の有無等 (4) 生活設計(老後、消費含む) 家計全体のバランス、過去一年間の家計運営、老後の生活についての考え方等 (5) 決済手段 日常的な支払いの主な資金決済手段、月平均手持ち現金残高等 (6) 金融制度等 預金保険制度の認知度、金融機関の選択理由等 |
|-------|--|

| | |
|------------|---|
| 調査対象者の抽出方法 | 層化二段無作為抽出法により全国から 500 の調査地点を選び、各調査地点から無作為に 16 の世帯（二人以上世帯）を選ぶことによって計 8,000 の調査対象（標本）を抽出。 |
| 調査の方法 | （１）訪問と郵送の複合・選択式によって調査依頼・回収しました。 （２）平成 21 年調査の実施および結果の集計は、（株）日本リサーチセンターに委託しました。 |
| 調査の時期 | 平成 21 年 6 月 12 日（金）～7 月 21 日（火） |
| 回収状況 | 標本数：8,000 名 回収数：4,026 名 回収率：50.3 % |
| 調査結果の公表 | 調査結果は、当委員会のホームページで公表した（平成 21 年 10 月 23 日）ほか、冊子を作成。 |

・単身世帯調査の概要

| | |
|---------------|--|
| 調査の内容 | （主な調査項目） 上記の二人以上世帯調査と同じ。 |
| 調査対象モニターの選定方法 | （選定方法の概要） ・20 歳以上 70 歳未満で、単身で世帯を構成する者。 ・モニター数は 2,500 を有効回収数として確保する設計とし、直近（平成 17 年）の国勢調査の単独世帯データにおける地域・年代・男女別の構成比に基づき回答者割付を行いました。 |
| 調査の方法 | （１）インターネットモニター調査の方法によって、調査依頼・回収しました。 （２）平成 21 年調査の実施および結果の集計は、（株）インテージに委託しました。 |
| 調査の時期 | 平成 21 年 6 月 19 日（金）～6 月 30 日（火） |
| 回収状況 | 有効回収モニター数：2,500 名 |
| 調査結果の公表 | 上記の二人以上世帯調査と同じ。 |

（「家計の金融行動に関する世論調査」参照先）

二人以上世帯調査：

http://www.shiruporuto.jp/finance/chosa/kyoron_futari/index.html

単身世帯調査：

http://www.shiruporuto.jp/finance/chosa/kyoron_tan/index.html

2. 海外の金融教育の実情調査、国際機関等との情報交換

【目的】

金融広報中央委員会では、①海外における金融教育・金融知識普及活動を巡る状況を紹介することを通じて金融知識を身につけることの大切さを広く国民に伝えるとともに、②当委員会の活動の参考とするため、金融教育に関する国際会議への参加や海外の金融教育関連団体の来日などの機会を捉えて、海外における金融教育の動向に関する情報収集・調査を行っています。また、③わが国における取組みを海外諸国における金融教育推進の参考に供するため、国際機関等の会議にも積極的に参加しています。

【内容】

本年度は、昨年度の米国に続き、英国における金融教育（一般成人向けの金融知識普及活動を含む広義の「金融教育」）の実情について調査を実施しました。

また、OECD主催の国際会議に出席し、各国における金融教育に関する活動状況について情報収集を図るとともに、参加者との意見交換に努めました。

Ⅲ 都道府県金融広報委員会を通じた活動

【目 的】

都道府県金融広報委員会の活動を支援することを通じ、金融に関する正確な知識等を全国的に普及させることを目的としています。

【内 容】

金融広報委員会活動は、当委員会のほか、全都道府県にある金融広報委員会（以下、「各地委員会」、当委員会と各地委員会の双方を指す場合には、「金融広報委員会」という）においても推進されています。各地委員会は、都道府県庁、地方財務局、日本銀行支店・事務所、銀行、信用金庫、信用組合、証券会社、保険会社などの業界団体等から選出された委員から構成され、日常的な活動は主に、県または日本銀行支店・事務所に置かれている事務局によって行われています（資料1参照）。

各地委員会では、当委員会と連携しながら、金融に関する正確な知識等を当該地域の方々に幅広く普及させるため、独自の活動を展開しています。各地委員会の活動は、地域毎に異なる諸条件や現状を踏まえ最適な方法が模索されるため、内容は必ずしも一律ではありませんが、「金融商品に関する正確な知識の普及」、「金融・金銭教育への支援」、「金融トラブルに対する注意喚起とその対処方法の周知」を軸に活動を展開する委員会が多くみられました。

【金融広報委員会活動の概要および制度】

各地委員会では、各都道府県民の方々への啓発資料の提供のほか、大規模な講演会・シンポジウム、中小規模の講座やセミナーの開催など、草の根の活動にも積極的に取り組んでいます（資料2参照）。また、こうした活動を支えるものとして、（1）金融広報アドバイザー制度、（2）金融学習グループ制度、（3）金融・金銭教育研究校制度、（4）金融教育研究グループ制度、（5）金融学習特別推進地区制度があります。当委員会では、これらの活動や制度が有効かつ円滑に運用されるために資金的な補助や様々なノウハウを提供しているほか、資料・教材等を配付するなどの支援を行っています。

各制度の概要は以下のとおりです。

1. 金融広報アドバイザー制度

金融広報アドバイザー制度とは、地域の方々に対し、中立公正な立場から、客観的で正確な金融関連知識を直接提供するために、各地委員会が金融経済に関する有識者などを金融広報アドバイザーとして選任し、当委員会が委嘱する制度です。各地委員会で選任・委嘱されている金融広報アドバイザーは、平成22年3月31日現在、総勢470名です。金融広報アドバイザーは全国各地で、金融商品、資産形成、年金、保険、税金、金融トラブル、金融・金銭教育等をテーマにした講演会や講座・講習会の講師として活躍しています（本年度中の講師派遣件数は3,737回）。

なお、当委員会では、金融広報アドバイザーの活動に関する情報や資料を提供するなどの支援を行っています。

2. 金融学習グループ制度

金融学習グループ制度とは、金融経済知識の習得のために自主的かつ意欲的に学習活動に取り組むグループに対して、各地委員会が活動目的、学習内容を吟味したうえで、原則として1年間（活動実績等を踏まえて2回まで延長可）、「金融学習グループ」として認定し、金融広報アドバイザーの派遣や資金的な援助などを行う制度です。平成22年3月31日現在、全国で86先が金融学習グループとして認定され、身近な各種金融商品の仕組みや特徴、金融に関する法律や制度、生活設計や資金計画の策定およびそれに必要な年金・保険・税金、子どもや若者に対する基礎的な金融に関する消費者教育の進め方などをテーマに学習活動が行われています。

なお、当委員会では、各地委員会が行う金融学習グループへの資金的援助を助成する制度を設けています。

（金融学習グループにおけるカリキュラムの例）

| テーマ | 講師 |
|------------------|------------|
| 金融・経済についての基本的な見方 | 日本銀行職員 |
| ライフプランニングの方法 | 金融広報アドバイザー |
| 金融商品の基礎知識 | 金融広報アドバイザー |
| 正しい年金の知識 | 金融広報アドバイザー |
| 悪質商法からの防衛策 | 弁護士 |

3. 金融・金銭教育研究校制度

金融教育研究校あるいは金銭教育研究校（以下、「研究校」という）制度とは、学校や幼稚園において、金融や金銭に関する具体的な教育を実践し、その効果的な方法を研究していただくことを目的に、各地委員会が幼稚園または学校を1年ないし2年間、研究校として委嘱する制度です。高等学校、中学校、小学校等において、金融・経済に関する正しい知識の習得に力点を置くものを「金融教育研究校」、中学校、小学校、幼稚園等において、金銭や物に対する健全な価値観の養成に力点を置くものを「金銭教育研究校」として委嘱します。金融広報委員会では、研究校に対して、カリキュラムの作成や金融広報アドバイザーを含む講師の派遣、授業で用いる教材・資料等の提供、授業を進めるうえでの各種技術指導等の支援を行っているほか、研究・実践に必要な費用の一部を補助しています。

平成22年3月31日現在、全国42都道府県で計130校の研究校が委嘱され、その成果等に関する情報については、各地委員会によって開催される金融・金銭教育協議会や金融教育公開授業における発表等を通じて共有され、活動内容の向上に役立てられています。

（参考）研究校の委嘱状況

| | 高等学校 | 中学校 | 小学校 | 幼稚園 | 聾・養護学校 |
|---------|------|-----|-----|-----|--------|
| 金融教育研究校 | 48校 | 21校 | 5校 | — | 2校 |
| 金銭教育研究校 | — | 9校 | 36校 | 9校 | — |

4. 金融教育研究グループ制度

金融教育研究グループ制度とは、主として高等学校、中学校において特定のまたは複数の教科（公民科、家庭科、商業科など）や総合的な学習の時間等を担当する教師の学校横断的な研究会・グループ等のうち、金融教育を実践・研究しようとしているグループに対して、金融教育研究校に準じて研究を委嘱し、金融広報委員会が、ノウハウや資金的な援助を行う制度です。平成22年3月31日現在で全国4県において4グループが金融教育研究活動に取り組んでいます。金融広報委員会では、この制度を通じ、実際に教育現場を担っておられる先生方に金融教育への理解を深めていただくとともに、より効果的な授業が幅広く行われるように支援しています。

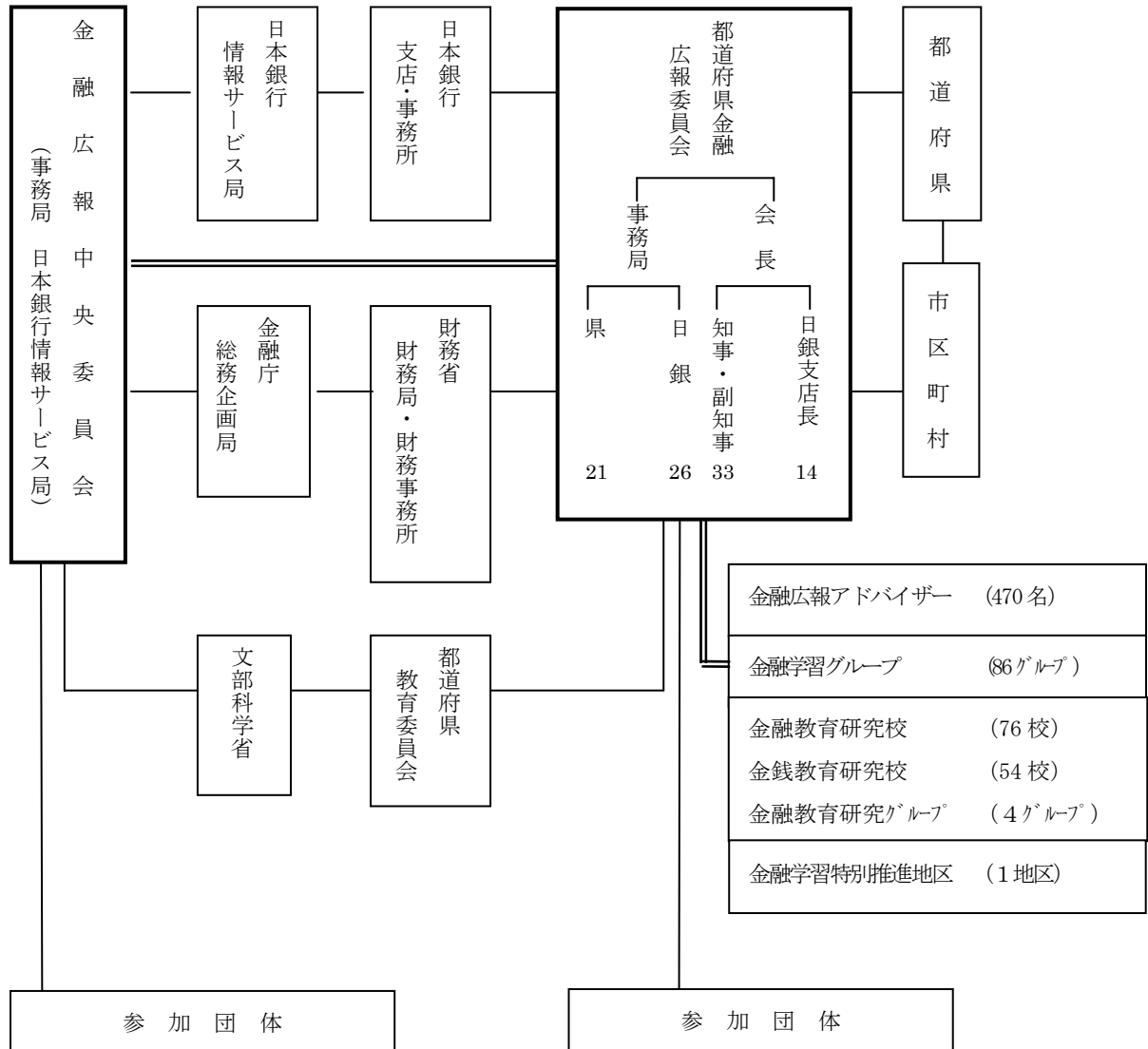
5. 金融学習特別推進地区制度

金融学習特別推進地区（以下、「特区」という）制度とは、市町村またはその中の一定地域が、各地委員会および当委員会と一体となって、地域ぐるみ（住民、企業、学校、PTAなど）で継続的な金融学習への取組みを推進することを目的に、平成16年度に新設した制度です。同制度の委嘱期間は原則として2年間です。

平成22年3月31日現在、東京都八王子市が特区の指定を受けており、金融広報委員会からの助成金やノウハウの提供を受けて、暮らしに身近な金融の学習を講演会や講座等を通じて活発に行っています（21年度中の開催回数19回）。また、金融広報委員会では、金融・金銭教育の一環として、「特区」自治体である八王子市が開催する消費者や子ども向けのイベントに「一億円の重さ体験コーナー」や「クイズコーナー」などの展示ブースを出展したり、金融学習に関する「親子バスツアー」を実施するなどの支援活動も行っています。

<H22.3.31 現在>

金融広報中央委員会活動の相互連携図



(資料2) 主な金融経済等講演会の開催状況

| 日 時 | 開催地 | 講 師 名 | テ ー マ |
|-------------------|----------|-----------------------------------|---|
| 平成21年 5月14日(木) | 鹿児島県鹿児島市 | 住田 裕子 (弁護士) | 「気をつけよう！金融トラブル」 |
| 9月4日(金) | 栃木県宇都宮市 | 原 早苗 (埼玉大学非常勤講師) | 「消費者から見た金融」 |
| 9月13日(日) | 島根県松江市 | 生島 ヒロシ (キャスター) | 「人生を楽しむ秘訣 ～心と体と財布の健康～」 |
| 9月16日(水) | 奈良県橿原市 | ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究家) | 「『くらしとおかねのお役立ちヒント』 ～日米の生活体験を通じて～」 |
| 9月26日(土) | 富山県富山市 | 生島 ヒロシ (キャスター) | 「いつまでも若く生きる秘訣 ～心と体と財布の健康～」 |
| 9月26日(土) | 福井県福井市 | 藤澤 久美 (シンクタンク・ソフィア バンク副代表) | 「どうなる？ 先行きのくらしと経 済」 |
| 10月7日(水) | 石川県金沢市 | 井戸 三枝 (ファイナンシャルプランナー) | 「マネーよろず相談 家計のバランスシートから考える」 |
| 10月9日(金) | 青森県青森市 | 高橋 進 (株)日本総合研究所副理事長) | 「これからの日本経済と私たちの 暮らし」 |
| 10月14日(水) | 群馬県前橋市 | ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究家) | 「『くらしとおかねのお役立ちヒント』 ～日米の生活体験を通じて～」 |
| 10月15日(木) | 岐阜県岐阜市 | 見城 美枝子 (青森大学教授) | 「変わりゆく時代の暮らしと金融 ～暮らしの中で学ぶこと～」 |
| 10月15日(木) | 兵庫県神戸市 | 生島 ヒロシ (キャスター) | 「人生を楽しむ秘訣 ～心と体と財布の健康～」 |
| 10月16日(金) | 神奈川県横浜市 | ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究家) | 「オラの日米おもしろお金講座」 |
| 10月17日(土) | 沖縄県那覇市 | 住田 裕子 (弁護士) | 「『行列のできる』金融トラブル相談所 『うまい話にご用心。‘なんくるないさ’ ではいられんよー！！』」 |
| 10月27日(火) | 静岡県静岡市 | 藤澤 久美 (シンクタンク・ソフィア バンク副代表) | 「知っておきたい経済知識と資産運 用の心得」 |
| 10月30日(金) | 福島県福島市 | 住田 裕子 (弁護士) | 「気をつけよう！金融トラブル」 |

| 日 時 | 開催地 | 講 師 名 | テ ー マ |
|-------------------|---------|--|---|
| 10月30日(金) | 鳥取県鳥取市 | 藤澤 久美 (シンクタンク・ソフィア バンク副代表) | 「どうなる!? 先行きの暮らしと経済 ～これからの私たちに必要な金融 知識～」 |
| 10月30日(金) | 福岡県久留米市 | 宇都宮 健児 (弁護士) | 「金融に関する消費者トラブルから 学ぼう」 |
| 11月5日(木) | 茨城県水戸市 | 洪澤 健 (シブサワ・アンド・ カンパニー(株)代表取締役) | 「世界同時不況における、これからの 資本市場のあり方」 |
| 11月10日(火) | 千葉県千葉市 | ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究家) | 「暮らしに役立つ！ オラの日米おもしろお金講座」 |
| 11月12日(木) | 北海道帯広市 | 藤澤 久美 (シンクタンク・ソフィア バンク副代表) | 「どうなる!? 先行きの暮らしと経済 ～これからの私たちに必要な金融 知識～」 |
| 11月17日(火) | 岡山県岡山市 | 藤澤 久美 (シンクタンク・ソフィア バンク副代表) | 「どうなる!? 先行きの暮らしと経済 ～これからの私たちに必要な金融 知識～」 |
| 11月21日(土) | 山口県下関市 | 細野 真宏 (Hosono's Super School 代表) | 「世界一わかりやすい金融・経済の はなし」 |
| 11月22日(日) | 愛知県小牧市 | 見城 美枝子 (青森大学教授) | 「変わりゆく時代のお金と暮らし」 |
| 11月28日(土) | 香川県高松市 | 住田 裕子 (弁護士) | 「気をつけよう！金融トラブル」 |
| 11月29日(日) | 滋賀県大津市 | 生島 ヒロシ (キャスター) | 「人生を楽しむ秘訣 ～心と体と財布の健康～」 |
| 12月11日(金) | 高知県高知市 | 藤澤 久美 (シンクタンク・ソフィア バンク副代表) | 「どうなる!? 先行きの暮らしと経済 ～これからの私たちに必要な金融 知識～」 |
| 12月12日(土) | 山梨県中巨摩郡 | 生島 ヒロシ (キャスター) | 「人生を楽しむ秘訣 ～心と体と財布の健康～」 |
| 平成22年 1月16日(土) | 宮城県仙台市 | 洪澤 健 (シブサワ・アンド・ カンパニー(株)代表取締役) | 「サブプライム問題と世界同時不況 がもたらしたもの」 |
| 1月17日(日) | 和歌山県田辺市 | 高橋 伸子 (生活経済ジャーナリスト) | 「金融トラブルから身を守る －安心な生活はこうして築く－」 |
| 1月28日(木) | 埼玉県川口市 | 見城 美枝子 (青森大学教授) | 「変わりゆく時代の暮らしと金融」 |
| 2月5日(金) | 長崎県佐世保市 | 細野 真宏 (Hosono's Super School 代表) | 「世界一わかりやすい金融・経済の はなし」 |

| 日 時 | 開催地 | 講 師 名 | テ ー マ |
|----------|---------|---|--------------------------------------|
| 2月6日(土) | 愛媛県松山市 | ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究者) | 「くらしとお金のお役立ちヒント」 |
| 2月9日(火) | 東京都八王子市 | ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究者) | 「くらしに役立つ！ オラの日米おもしろ『お金講座』」 |
| 2月21日(日) | 大分県大分市 | いちのせ かつみ (ファイナンシャルプランナー ・生活経済ジャーナリスト) | 「おもしろく生きよう！ 人生100年を豊かにする生活設計」 |
| 3月2日(火) | 長野県長野市 | ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究者) | 「『くらしとおかねのお役立ちヒント』 ～日米の生活体験を通じて～」 |